

学道一如

発行 小樽双葉高校
生徒会通信
2023年5月1日
第9号

意思伝えアウトドアを満喫

2-1 赤松諒侑

事前にメールのやりとりをして4人のホストスチューデント(三つ子ともう一人)と連絡を取り合い、希望を伝え、充実し



ウノなどカードゲームをよくした。

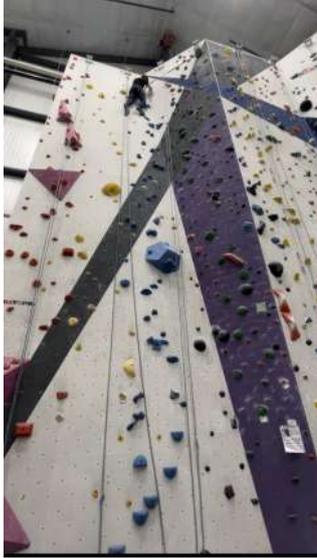
たホームステイ生活を送ることができた。アウトドア好きなウリアム家に受け入れてもらい、ボルダリングやスキー、野球が



スキーにも連れて行ってもらった。

米国ホームステイ 語学研修報告 (5)

クライミングやボルダリングに挑戦した。



ウリアム家の食卓



できるところに連れて行ってもらった。買い物にもあちこち連れて行ってもらい、本場のコストコを見たり、買い物を楽しんだ。自分の意思を伝えて、いろいろな経験ができたと思う。ホストファミリーのお父さんが料理が得意でスペイン料理などを振る舞ってくれた。英語は単語重視でコミュニケーションが成立した。ずっと英語漬けになるが、挑戦する気持ちで前向きに伝えるとよい。帰国後、誕生日には互いにインスタのDMでお祝いをした。

奉仕活動部通信

① ミンダナオ子ども図書館

奉仕活動部が関わっている活動を紹介するシリーズの第一回。フィリピンでルソン島に次ぐ大きな島であるミンダナオ島。内線が50年続いたため、経済成長は遅れている。そこで活動するフィリピンの現地NPO法人「ミンダナオ子ども図書館」へ支援物資(上靴・衣料品・文具など)を届ける活動が続いている。

このNPOは地域の村に入っ 療支援、就学支援、保育所支援、絵本の読み聞かせ活動、子どもシェルター、難民救援活動、植林活動などを行っている。



FURUTA KAZUYUKI 様
早朝のみぎり、つががばお過ごしでしょうか。
先日に、支援物資 2箱を受け取りました。
たくさんのお洋服やスニーカー、靴なども
送って下さり、本当にありがとうございます。
ミンダナオの子どもたちへのご支援に、心より
お礼を申し上げます。 現地スタッフ 宮本 様
2023.2.13

支援に対する礼状

NPO小樽ワールドフレンズが支援物資を送っていたので本校も上靴を洗って送る活動をしていったが、そのNPOが解散したため、後を継ぐことになった。現在は本願寺小樽別院婦人部と共同で年4回衣類、上靴、かばんなど日用品を送っている。

梱包などを手伝っている木村伊咲さん(部長・3-2)は「フィリピンの方の生活の助けになれば」と語る。

「ミンダナオ子ども図書館」は現在水田14ヘクタールで250人分の米を賄っているが、さらに10ヘクタール増やし、食卓を豊かにし、支援金を教育や医療に振り向けたいとプロジェクトを展開している。

支援物資を手取る人々

